



■ Mooovi(モーヴィ)とは、知育玩具・遊具の輸入などに定評があるポーネルド社と地方公共団体が、地域貢献のために、子どもが存分に体を動かして遊べる環境を増やしたいとの思いが一致して設置する遊び場です。

モーヴィ Mooovi 下関

閩ボートレース下関
(☎246-1161)

営業日	ボートレース下関開催日 ※レース非開催日にもオープンすることがあります	
営業時間	土・日・祝	①午前10時～午後1時 ②午後2時～5時
	平日	午後2時～5時
対象年齢	6カ月～12歳 ※保護者の同伴が必要	
入場料	1人300円 ※ボートレース下関入場料含む	
駐車場	無料	

※都合により一部変更になることがあります

この施設では大型遊具を使ったダイナミックなからだ遊びや砂遊び、水遊びが楽しめます。広さは3200平方メートル。収容人数は保護者も含めて300人、400人程度。北欧製の約20台の遊具が設置され、三輪車、ボール、砂場遊びの道具なども借りることができます。

4月30日、いよいよ長府にあるボートレース下関に、ポーネルドがプロデュースした日本最大級の屋外あそび場「BOAT KIDS PARK Mooovi」下関がオープンします。モーヴィとしてポーネルドとボートレース場がタッグを組むのは埼玉県戸田市に続いて全国で2カ所目、屋外施設としては全国初となります。

昔の遊び場のように

ポーネルドの養田宏史さんに話を伺いました。「今回の施設の特徴は、成長段階に応じてエリアを分けているところです。生後6カ月から2歳までのベビーエリアを充実させていることや、難易度の異なる遊具をそろえており、年齢の違う兄弟姉妹でもそれぞれが楽しめます」。

難易度の高い遊具もあり、12歳までの幅広い層の子どもが遊べるのもこの施設の特徴で、自分で考え、チャレンジすることにより、子どもの成長を促します。

また、子どもの成長と遊びについて研修を受けた「ブレイクリーダー」が常駐し、保護者と子どもが一緒に遊べることをサポートします。

「私たちが昔、山や川を駆けずり回って色んなことをして遊んでいたように、今の子どもたちにも、



ポーネルド
養田 宏史さん



スピカ
ポールをつかみ、勢いよく飛び乗るとスピーディーに回転。



スーパーノバ
傾斜した輪がダイナミックに回転するバランス遊具。



日本初登場！
ロビニア シップ
甲板部分に立てば、まるで大きな船の船長になったよう。



ブロックス
岩のようなブロックをフリークライミングのように登ります。

2019年
4.30
OPEN

ボートレースプロデュース 日本最大級 屋外あそび場 **BOAT KIDS PARK**

ボートレース下関は、市民の方が気軽に訪れることができる「地域に開かれた場所」となることを目指しています。子ども向けのヒーローショーや体験イベントを行なったり、平成30年10月にはキッズルーム「ドリームランド」や子ども向け専用トイレを設置したりと、家族で訪れることができるイベントや施設を充実させています。

楽しくて毎日でも行きたくなる場所、公共のレジャー施設として、地域の交流が自然と生まれる場所となるよう取り組んでいます。これからのボートレース下関に注目です。

「市に貢献があります。平成30年度はボートレース下関の事業会計から17・5億円を市の一般会計へ繰り入れ、幼稚園・小学校・中学校などのエアコン整備の財源に充てるなど、市の財政への貢献は大きなものとなっています。」

ボートレース下関は、市民の方が気軽に訪れることができる「地域に開かれた場所」となることを目指しています。子ども向けのヒーローショーや体験イベントを行なったり、平成30年10月にはキッズルーム「ドリームランド」や子ども向け専用トイレを設置したりと、家族で訪れることができるイベントや施設を充実させています。

「地域に開かれた場所を目指して」

ボートレース事業の目的として、「市の財政に寄与すること」、「地域への貢献」があります。平成30年度はボートレース下関の事業会計から17・5億円を市の一般会計へ繰り入れ、幼稚園・小学校・中学校などのエアコン整備の財源に充てるなど、市の財政への貢献は大きなものとなっています。

ボートレース下関は、市民の方が気軽に訪れることができる「地域に開かれた場所」となることを目指しています。子ども向けのヒーローショーや体験イベントを行なったり、平成30年10月にはキッズルーム「ドリームランド」や子ども向け専用トイレを設置したりと、家族で訪れることができるイベントや施設を充実させています。

家の外で力いっぱい遊んでもらい、体を動かすことや友だちとの交流をとおして成長してもらいたい。そして、子どものときによく遊びに行ったと言われるような施設になってほしいです。ぜひ、一度遊びに来てくださーい」と養田さんは話してくれました。



長府東部自治連合会
友松 弘幸 会長

一緒に地域を盛り上げたい

ひと昔前とは異なり、ボートレース場は家族連れでも行きやすい施設へと変わってきています。チームラボや海響ドリームファンタジアなどの各種イベントが開催されることによって、舟券を買わなくても家族で楽しめるような施設になりました。ボートレース下関に初めて行った人からは、「トイレが整備されていて、清潔に保たれていた」とよく聞きます。

家族で行きやすい理由の一つになっていますね。ボートレース下関と地域で協力して企業フェスタや防災訓練などを行ったり、チャリティで集めたお金で保育園に遊具を寄付してもらったりと、地域とのつながりも強いと感じます。

今回の施設は、子どもの遊ぶ場所が増え地域としては大変ありがたい。これからもボートレース下関と一緒に地域を盛り上げていきたいです。